

(様式 1-3)

福島県（川内村）再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 27 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	13	事業名	荻地区可搬式空間放射線量モニタリングポスト据付事業	事業番号	(3) 10-1
交付団体	川内村		事業実施主体（直接/間接）	直接	
総交付対象事業費	2,381（千円）		全体事業費	2,381（千円）	
再生加速化に関する目標					
当地区は、国の直轄除染で発生した廃棄物の仮置場が隣接することから、住民は放射線に対し強い不安を抱えており、帰還に向けた動きの妨げになっている。このため、常時、空間放射線量を把握できる可搬式モニタリングポストを据付することで、住民の安心安全を担保しながら生活再建に向けた動きを加速化させる。					
事業概要					
◎可搬式空間放射線量モニタリングポスト据付事業 ・可搬式空間放射線量測定器 1 基 ・保護フェンス 1 式					
◎『第四次川内村総合計画』 ・ P. 22[I]暮らしを守り・生活を高める村 1. 農村空間を活かした快適な村づくり (1) 総合的土地利用 ②課題 「豊かな田園風景を維持していくためには、農業の再開及び継続は必須であり、そのためには放射能汚染の状況に関する継続的なモニタリングと適切な除染作業が求められる。」 ・ P. 71[V]新たな創造に取り組む村 1. 復興のフロンティアとしての村づくり (3) 除染及び放射能管理への対応の強化・充実 ③施策の方向と具体的内容 「除染を徹底して行うとともに引き続きモニタリングを行うなど、放射能管理への対応を強化・充実し、村民が安心して暮らしていくことのできる生活環境づくりのため、国や福島県と連携し早期な対策を進めて行く。」					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 26 年度> 可搬式空間放射線量モニタリングポスト据付事業 2,381 千円					
地域の再生加速化との関係					
荻地区の空間放射線量をリアルタイムで表示できることで、住民の安心安全を担保しながら、帰還に向けた動きを促し地域の生活再建を加速化させる。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	